



日進北小だより

令和3年12月1日 第8号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標:

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する
～日本一 すてきなあいさつ 日北っ子～



「運動会実施・GIGAスクール構想推進」

校長 平塚 信也

「校長先生、運動会がとても楽しみなんです。」「わくわくしすぎて苦しいくらいです。」何人かの児童に声を掛けられました。それも低学年ではなく、高学年でした。楽しみにしてくれていることをうれしく感じました。学校生活には学習も大事ですが、節目となる特別な行事も大切です。運動会は全学年が関われる数少ない行事の一つです。11月まで延期しましたが、各御家庭での参観者の人数を限定させていただきました。また、本来なら地域の方々にご参観いただき、子どもたちへの応援をいただきましたかったのですが、残念ながら断念いたしました。来年度はご招待できることを祈るばかりです。11月20日(土)ようやく無事に運動会を実施することができました。ひとえに地域、近隣、保護者の方々のご協力のおかげと感謝しています。本年度も声を出しての応援は自粛し、子どもたちは赤白の不織布を振っての応援、参観者の方は拍手での応援としました。拍手に包まれた運動会はとても素晴らしいものでした。ずいぶんと延期しての運動会だからでしょうか、一人ひとりの意気込みが伝わり、実施できた喜びを身体じゅうで表すものとなりました。運動会終了後、クラスに掲示してある感想を見てみますと「お家の人に頑張る姿を見せられた。」「みんなで確認したり、練習したりできた。」「心一つにできた。」「6年生の表現にとっても感動した。次は私たちが感動させる番なのでがんばりたい。」「協力することの大切さを学んだ。」などの言葉があふれていました。対面で、集団で、触れ合いながら活動することの良さをまた実感させられました。

一方、さいたま市では個別最適な学びを目指してGIGAスクール構想を進めています。本校でも各クラスでICTを使い、担任のアイデアを生かした授業をどんどん展開しています。授業を進めるうちに様々なことが分かってきました。タブレットに適した学習があること、使用しないときは画面を先生に向けるなどの約束が大切なこと、全員の参加度合いや理解度を教員が瞬時に把握しやすいことなど多くの気づきがあります。また、個別の課題や学習進度の違いについては一人1台のタブレット学習はとても効果的です。詳しい計画は近日中にお伝えいたしますが、いよいよ本校でもタブレットを持ち帰っての学習を始める予定です。ご心配なところもあるかとは思いますが、ご家庭でのご協力お願いいたします。

先日、タブレットの持ち帰りについて「心配されること、タブレットを持ち帰ってやってみたいこと。」について児童会の役員を呼んで話を聞きました。心配なことでは、「夜遅くまで使ってしまう人がいるのではないか。」「ゲームやネットサーフィンをしてしまうのではないか。」「壊してしまわないか。」などが、使ってみたいことでは「授業での続きを進めたい。」「計算問題などを上級学年まで進めたい。」などがありました。話し合いを参考にいくつかのルールを設けて一度持ち帰らせる予定です。

丑年も残り1ヶ月です。個人も集団も子どもの人格形成に大切なものです。健全な成長を願って教育活動を続けていきます。寅年もご支援よろしくお願いいたします。